

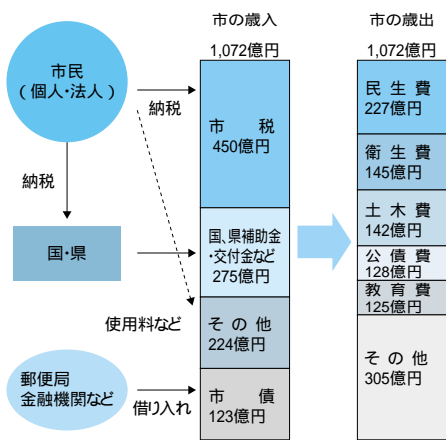
財政の仕組みは どうなっているの

今回は、市財政の全体の仕組みを紹介いたします。

一年間に市が行う事業の収支予定が予算であり、予算には歳入と歳出（収入と支出）があります。

本年度予算では、千七百二十億円の収入が見込まれ、これに合わせて同額の支出をする予定です（左図のとおり）。

「歳入」では、市民の皆さんに納めていただく市税が半分近くを占めています。このほか、国や県からの補助金や交付金などが収入になります。交付金の代表選手は地方交付



税 所得税などの国税の一定割合が地方自治体へ交付されるものです。つまり、国や県から市民の皆さんが納めた国税、県税も含まれているということになります。また、市債は主に経費が多く必要な建設事業のための資金の借入れ（借金）です。これらのお金をどのような目的に活用するのが「歳出」です。図では、目的別に金額で上位五位までを挙げました。一位は「民生費」で平成十年度に土木費を抜いて以来トップ。これは、「福祉」のための経費です。少子・高齢化が進む中で、保育、介護、生活保護などに掛かる経費は年々増えていて、今後一層の増加が予測されます。二位は「衛生費」で、環境対策や「ゴミの処理費」などです。特に本年度は、ゴミの埋め立て施設の新たな整備や清掃工場のダイオキシン類削減対策など緊急性の高い事業を進める必要があります。大きな額になっています。



三位の「土木費」は、区画整理、道路、公園、市営住宅整備などの経費です。四位は「公債費」。聞き慣れない言葉ですが、借金の元金、利子の返済分です。過去数年、国の景気対策に合わせて、市も公共投資に取り組み、また大型事業が増えたため、市債（借金）が増え、これに伴う返済も増加してきました。五位は「教育費」で、主に小中学校や生涯学習などに掛かる経費です。そのほか、市立の幼稚園、養護学校、高校、大学の経費も含まれます。

このように、わたしたちの税金がいろいろな形で市民福祉の向上のために役立っています。市では、皆さんからお預かりした貴重な税金を大切に、最少の経費で最大の効果をえられるよう、効率的な予算執行に努めています。

…問い合わせは財政課 890 6542へ。

8月1日は「水の日」 水は大切に使いましょう



水量調節で無駄のない使用を

八月一日は、水の日、八月一日から七日までは「水の週間」です。

この週間は、水の大切さや有限性について理解を深めるために設けられました。いつまでも安全でおいしい水を飲むためには、皆さんの日ごろからの心掛が大事。この機会に日常生活を見直してみましよう。

なくそう水の無駄遣い

普段の何気ない行動が、水の無駄遣いになっていることもあります。水を出したまま歯磨きをしない（一分間に約六の無駄） 洗面や炊事は水量を小まめに調節する 風呂の残り湯は洗濯や掃除、まき水などに再利用する 洗車はバケツ洗いで行う（ホース洗いでバケツ洗いの六倍以上の水が必要）。

水への思いやりを

水はわたしたちの生活になくしてはならない大切な物。家庭排水や使い方に気を付けましよう。

油や汁物などは流さない

てんぷら油などの廃油は家庭排水を汚します。新聞紙やぼろ布などでふき取ってから洗いましよう。また、汁物や牛乳なども水質汚濁の原因になります。

調理くずは回収する

調理くずや食べ残などは、流しにゴミ受けを備えて回収しましよう。排水口に網をかぶせるなどの工夫も大切なことです。

洗剤の使用量を少なく

合成洗剤は、河川汚濁の大きな原因になります。洗剤の使用量を減らすよう努めましよう。

…問い合わせは水道局総務課 890 3011へ。